

月	単元・題材名（時数）	目標	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	世界はうつくしいと (1) 握手 (4) 〈聞く〉評価しながら聞く (1)	語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 話の展開を予測しながら聞き、内容や表現のしかたを評価することができる。	理解や表現のために必要な語句の量を増し語感を磨いている。 語句を話や文章の中で使うことを通して語彙を豊かにしようとしている。 根拠としている情報について事実関係などに注意して聞いている。	印象に残る表現をとらえ、自分の考えをもっている。 文章の種類を踏まえて物語の展開のしかたなどを捉えようとしている。 多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	進んで語感を磨き、詩の解釈や朗読をしようとしている。 粘り強く作品を批評したり考えたことを伝え合ったりしようとしている。 聞き取った内容や表現のしかたを進んで評価し、メモしようとしている。
5	学んで時に之を習ふ——「論語」から (3) 情報整理のレッスン 情報の信頼性 (1) 文章の種類を選んで書こう (4) 修学旅行記を編集する 漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1 (1) 作られた「物語」を超えて (3) 全国文字マップ (硬筆2)	古典の世界に親しむことができる。 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 文章の種類を選択し、論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 漢字を文や文章の中で使い慣れることができる。 文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。 文字による多様な表現を理解することができる。	「論語」の世界に親しんでいる。 情報の発信日時、発信源、目的等の観点から情報の信頼性を確認している。 随筆、物語、報道文など、さまざまな種類の文章があることを理解している。 熟語における音訓の組み合わせに注意している。 事例に着目して、具体と抽象の関係を理解している。 文字文化に触れ、効果的に文字を書いている。	孔子の考えを、自分の生活と関連づけて考えている。 担当した記事の内容が効果的に伝わる文章の種類を選択し文章の構成や表現を工夫している。 原因と結果、意見と根拠、などの関係に着目して論理の展開を捉えている。	積極的に自分の意見をもとうとしている。 情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。 進んで文章の種類を選択し、学習の見通しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている。 積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し伝え合おうとしている。 積極的に文字の特徴と、効果を理解しようとしている。
6	思考のレッスン 具体化・抽象化 (1) 説得力のある構成を考えよう (4) 漢字に親しもう2 (1) 文法への扉1 (1) 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう (3) 文字の使い分け (硬筆1)	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 相手を説得できるように話の構成を工夫することができる。 漢字を文や文章の中で使い慣れることができる。 文章の構成について理解を深めることができる。 文章を批判的に読み、文章に表れている事柄について考えることができる。 効果的に文字を書くことができる。	抽象と具体の程度を捉えながら読んだり書いたりしている。 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 文や文章の中で漢字を使うことに慣れている。 既習の文法事項を生かすことを理解している。 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 文字文化に触れ効果的に文字を書いている。	話す目的や相手を明確にし、伝える必要がある情報を選んでいる。 事実や事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読んでいる。 目的に応じて文字を書くことを理解している。	具体と抽象の関係について積極的に理解し課題に取り組もうとしている。 粘り強く論理の展開などを考えて自分の考えを話そうとしている。 積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 品詞の働きなどを進んで振り返ろうとしている。 学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。 積極的に書体の違いを理解しようとしている。
7	俳句の可能性 俳句を味わう 〈書く〉俳句を作って楽しもう (3) 言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現をめざして (1) 言葉1 和語・漢語・外来語 (1) 読書を楽しむ (1) 「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森 (1) [コラム]UD書体って何だろう (硬筆1)	表現のしかたを考えるなど、自分の意図が伝わる俳句になるように工夫することができる。 時間の経過による言葉の変化や世代による違いを理解することができる。 語句の量を増し語彙を豊かにすることができる。 読書の意義について理解することができる。 文章を読んで自分の考えをもつことができる。 見やすさにこだわった活字の書体への理解を深めることができる。	俳句の形式とその特徴について理解し、俳句を創作している。 身の回りの事例から自分たちの世代と異なる言葉の使い方を見つけている。 和語・漢語・外来語について理解している。 様々な読書の楽しみ方について理解している。 読書活動を通して読書の楽しさを発見している。 ユニバーサルデザイン書体を知り、文字文化の豊かさへの理解を深めている。	伝えたいことが効果的に伝わる構成（語順）を考えて、俳句を創作している。 ユニバーサルデザイン書体の使用例を通して文字文化の豊かさを確かめている。	進んで俳句の特徴について理解し、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。 試行錯誤しながら相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。 進んで和語・漢語・外来語を理解しようとしている。 進んで読書の効用を理解しようとしている。 見通しをもって活動に参加しようとしている。 積極的に身近なユニバーサルデザイン書体の使用例を探そうとしている。
8 9	挨拶 ・ 一原爆の写真によせて (2) 故郷 (5)	詩を読んで考えを深め、自分の意見をもつことができる。 時代や社会の中での人との関わりについて考えを深めることができる。	比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えている。 人生や社会を考えるきっかけになる読書の効用について理解している。	詩を読み深め、作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめている。 「私」が望む社会の在り方について自分の意見を述べている。	詩について感じたことや考えたことを積極的に伝え合おうとしている。 粘り強く批判的に読み、小説を批評しようとしている。

9	聞き上手になろう (1) 《推敲》論理の展開を整える (1) 言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語 (1)	相手や場に応じた言葉遣いをするができる。目的や意図に応じて文章を整えることができる。慣用句や四字熟語などについて理解を深める。	敬語などの言葉遣いを理解し、適切に使っている。情報と情報との関係について理解を深めている。新しく学んだ言葉を使って短文を作っている。	相手の思いを引き出す質問について捉えている。文章を推敲し、論理の展開を整えている。	粘り強く話の展開を予測しながら聞こうとしている。目的や意図に応じた表現を粘り強く探ろうとしている。積極的に言葉を調べ、短文を作ろうとしている。
10	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3 (1) 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 (3) 多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く (4) 漢字に親しもう4 (1) 《議論》話し合いを効果的に進める (1)	漢字を文や文章の中で使い慣れることができる。文章を批判的に読みながら、文章に表れた見方について考えることができる。表現のしかたや資料の引用など、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。漢字について、文章の中で使い慣れることができる。話し合いの進行について理解することができる。	漢字の造語力を意識しながら、漢字を使っている。自分の知識や経験と比べつづ筆者の意見や根拠を検討しようとしている。具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。 文や文章の中で漢字を使うことに慣れている。大きな論点から具体的な論点へと話し合いを進める方法を考えている。	文章を比較して共通点や相違点をまとめ、それを基に話し合っている。自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。 展望をもって効果的に話し合う工夫を考えている。	積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。積極的に二つの文章を批判的に読み自分の考えをまとめようとしている。表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見直しをもって批評文を書こうとしている。課題に沿って積極的に取り組もうとしている。積極的に進行のしかたを工夫し、効果的な話し合いをしようとしている。
11	合意形成に向けて話し合おう (4) 音読を楽しもう 初恋 (1) 和歌の世界 (1) 古今和歌集 仮名序 君まつと 万葉・古今・新古今 (3) 私の好きな言葉 (硬筆・毛筆2) 夏草一「おくのほそ道」から《書く》古典の言葉を引用しメッセージを贈ろう (5)	進行のしかたを工夫して合意形成に向けて議論を行うことができる。詩の表現について評価することができる。古典を読みその世界に親しむことができる。和歌の表現のしかたを評価することができる。学習した技能を生かして書くことができる。長く親しまれている言葉や古典の一節を覚え、引用するなどして使うことができる。	複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめている。言葉の響きやリズムを味わって朗読している。和歌に対する古人の思いを捉えようとしている。それぞれの作者の心情や情景を想像している。既習の知識・技能を生かして書いている。歴史的背景などに注意して読み、古典の世界に親しんでいる。	提案について互いの意見の長所を生かして話し合っている。文語定型詩を味わい情景や心情を想像している。 心情や情景について自分の考えをもっている。3年間で学習したことの生かし方を考えている。芭蕉が見たものや感じたことを想像している。	合意形成に向けて粘り強く話し合おうとしている。 進んで語感を磨き、朗読しようとしている。進んで古典の世界に親しみ朗読しようとしている。見直しをもって鑑賞文を書こうとしている。積極的に3年間で習得したことを生かさそうとしている。人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、文章にまとめようとしている。
12	古典名句・名言集 (2) 誰かの代わりに (3) 情報を読み取って文章を書こう (2) 漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5 (1) 文法への扉2 (1) 本は世界への扉 (1) 行書の練習 (校内書初め展に向けて) (毛筆4)	古典の一節を引用するなどして使うことができる。現代社会の可能性や困難について自分の意見をもつことができる。論理展開を助言を踏まえて改善することができる。漢字を文や文章の中で使い慣れることができる。単語の働きについて理解することができる。自分の生き方を支える読書の意義と効用について理解することができる。点画の連続を意識して行書を書くことができる。	作品の時代背景を知り、朗読に生かしている。抽象的な概念を表す語句を辞書で調べながら、文章を読んでいる。着眼点を決めて自分の考えをまとめている。漢字について、文や文章の中で使い慣れている。単語の類別や活用について理解している。二つのノンフィクションを読み、読書が生き方を支えてくれることに気づく。点画の連続のきまりを理解して書いている。	文章を批判的に読み、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。改善点を助言し合い推敲している。 読書を通して考えたことを「私のおすすめ」として紹介している。	進んで朗読や引用をしようとしている。理解したことや考えたことを議論したり文章化しようとしている。助言などを踏まえて推敲し、小論文を書こうとしている。積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。これまでの学習を進んで復習しようとしている。ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。進んで行書の運筆に慣れ親しもうとしている。
1	温かいスープ (3) わたしを束ねないで (2)	文章を読んで考えを広げ自分の意見をもつことができる。詩の表現に注意して読み、自分の意見をもつことができる。	人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取っている。表現の特色に気を付けながら詩を朗読している。	自分の生き方と比較して、「国際性」とは何か自分の考えをまとめている。作者の思いを想像しながら人間の生き方について考えている。	進んで自分の意見をもち、考えを伝え合おうとしている。 作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
2	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする (6) 漢字に親しもう6 (1)	言葉を選びながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。漢字を文や文章の中で使い慣れることができる。	相手や場を意識しながら適切な言葉を選び、自分の考えを伝えている。 音訓や部首などに注意して漢字を読み書きしている。	相手を意識して言葉を適切に使い、自分の考えが伝わるように構成を考えて発表している。	今までの学習を生かして文章にまとめたり、友達の発表を聞いて評価したりしようとしている。積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
3	学習を振り返ろう (4)	3年間の学習を振り返り、発表し合って考え方を深めることができる。	目的に応じて情報を収集・整理して相手に分かるように説明している。	目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように表現のしかたを工夫している。	粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かして取り組もうとしている。